

## 沖縄気象台等主催の「防災気象講演会」で地震保険を普及

～「防災力アップ!地震・津波の正しい知識の心の準備」をテーマに3講演開催～

日本損害保険協会沖縄支部(委員長:大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員 山里 武司)では、1月25日(土)に開催された「令和6年度防災気象講演会～防災力アップ!地震・津波の正しい知識と心の準備～」(沖縄気象台および沖縄県等主催)で、地震保険制度を認知いただくための講演をしました。

開会に際し、沖縄県知事公室 石川 欣吾 秘書防災統括監 から、「公助だけでなく、地域コミュニティにおける共助や自助が重要になっている。本講演会を通して、改めて防災意識の形成や、各地域での防災活動に生かしていただきたい」と挨拶がありました。

講演会では、第1講演の沖縄気象台 能勢 努 地震津波火山防災情報調整官からは「地震と津波について～2024年の地震トピックス～」の講演があり、第2講演の琉球大学 理学部物質地球科学科 中村 衛 教授から「地震と津波への備えー能登半島地震の教訓と沖縄の防災課題ー」では、「沖縄県は近年大きな地震被害は発生していないが、地震発生数や過去の発生状況を考えるといつ地震が発生してもおかしくない」旨、説明がありました。

第3講演では、当協会沖縄支部 山田 直毅 事務局長代理から「備えて安心 地震保険」のテーマで、「地震保険って何か?」「なぜ地震保険が必要なのか?」「地震保険の特徴」および「皆さまへのお願い」という流れで、地震保険が能登半島地震や熊本地震など様々な震災で、どのように役立ったのか、具体的にイメージしやすいように説明しました。

最後に沖縄気象台 植田 亨 台長から「万一が発生した際に、あの時、あの話を聞いて、考えていてよかった・備えていてよかった、と思える契機に今日の講演会がなければ幸いだ」と挨拶がありました。

講演会後のアンケートでは、「大変ためになった」「今後の防災意識向上につながった」といったコメントを多数いただきました。

沖縄県は地震保険の世帯加入率が全国ワースト1位となっています。沖縄支部では、沖縄気象台や沖縄県等を始めとする関係機関・団体と連携し、沖縄県における正しい地震リスクの認知およびその備えについて啓発してまいります。

■講演の配信 [広報イベント-沖縄気象台](#) ※2025年3月末までの予定です

○セミナー概要

- ・開催日時 2025年1月25日(土) 14:00～16:30
  - ・開催場所 沖縄産業支援センター 1階大ホール(那覇市字小禄1831番地1)
  - ・司会 大城勝太(エフエム沖縄アナウンサー)
1. 開会挨拶 沖縄県知事公室 秘書防災統括監 石川 欣吾 氏
  2. 共催挨拶 沖縄気象災害防止協議会 会長 角 善晴 氏
  3. 講演  
講演1「地震と津波について～2024年の地震トピックス～」  
沖縄気象台 地震津波火山防災情報調整官 能勢 努 氏  
講演2「地震と津波への備えー能登半島地震の教訓と沖縄の防災課題ー」  
琉球大学 理学部 物質地球科学科 教授 中村 衛 氏  
講演3「備えて安心地震保険」  
日本損害保険協会沖縄支部事務局長代理/琉球大学非常勤講師 山田 直毅 氏
  4. 閉会挨拶  
沖縄気象台 台長 植田 亨 氏



石川統括官による開会挨拶



角会長による共催挨拶



司会の大城アナウンサー



能勢調査官による講演



中村教授による講演



山田事務局長代理による講演



植田台長による閉会挨拶



会場の様子



会場の掲示物